

ディボーション質問表



今週の19～21章は、「地の果て（使徒1：8）までの宣教」（13～28章）の一部で、パウロの第三回伝道旅行の箇所です。第三回伝道旅行の地図は下記のページを参考にしてください。 <http://www.cityc.net/image/map20050717.jpg>

29日（月）使徒の働き 18：24～19：20節 エペソで

1. パウロがエペソで出会った幾人かの弟子（19：1節）と、18：24～28節に出てくるアポロとを比べてみましょう。どのような点が共通しているのでしょうか？ その理由は何だと思えますか？
2. 20節には「こうして」という使徒の働きに特徴的な言葉が書かれています。ここではどのようにして主のことが驚くほどに広まっているのでしょうか？ その特徴を自分の生活にも適用してみましょう。

30日（火）使徒の働き 19：21～41節 エペソでの騒動

1. エペソにおいて「この道のことから、ただならぬ騒動」が起きています。それはどのような出来事だったでしょう。この騒動を彼らが起こした理由は何でしたか？ 私たちの生活の中にも、同じような動機で起きている出来事がありますか？
2. エペソの劇場で起きた出来事を観察してみましょう。彼らの状態はどのようでしょうか？ そのような彼らの姿を見てどう思えますか？ 彼らの姿から避けるべき行動として自分に適用できることは何かあるでしょうか？

31日（水）使徒の働き 20：1～16節 マケドニヤ～ミレト

1. パウロたちは7節でいつ集まっていますか？ それは何曜日のいつ頃だと思えますか？ 彼らは何の為に集まっていますか？ この習慣はどのような形で私たちに伝わっているのでしょうか（Iコリント11：20～22節 参照）？
2. パウロたちが第三回伝道旅行で行った町の名前が出てきます。その足取りを地図で確認してみましょう。また、第二回伝道旅行（16～18章）の時に同じ町でどのような事があったか、確認してみましょう。

1日（木）使徒の働き 20：17～38節 エペソの長老たちとの別れ

1. この箇所からパウロがどのように生きてきた事が分かりますか？ あなたにとって彼の生き方から模範として学ぶことが出来ることは何でしょうか？
2. パウロがエペソの長老たち（霊的指導者）に勧めている内容はどのような事でしょうか？ その教えを私たちの生活にどのように適用できますか？

2日（金）使徒の働き 21：1～16節 エルサレムへの道

1. ツロにいた弟子たちは、御霊に示されて何をしていますか？ それに対してパウロたちはどうしていますか？ それは何故だと思えますか（4～5節）？
2. アガボ（10節）という人物はどのような人だったでしょうか（11：28節）？ 彼が語った預言の内容はどのようなものでしたか？ それを聞いた人々はどのような行動をしていますか？ 4節と比較してみましょう。その違いはどうしてだと思えますか？ パウロは彼らに対してどのように答えていますか？ それは何故だと思えますか？

3日（土）使徒の働き 21：17～36節 エルサレムにて

1. パウロたちはエルサレムに着いた後、何をしていますか？ そこで彼らはどのような事をしていますか（17～26節）？
2. 今日の箇所を読んで、アガボの預言（11節）がどのようになったかを観察しましょう。14節で彼らは「主のみこころのままに」と言っていますが、パウロの行動は主のみこころだったと思えますか？